

我が国の科学技術研究開発の推進と応用物理学会 －何が要請されているか、それにどう応えるか－

皆様ご承知の様に、第3期科学技術基本計画が閣議決定され(2006年3月28日)、今後5年間にわたる我が国の科学技術の研究開発指針が提示されました。大きな特徴は、「人類の叡知を生む、国力の源泉を創る、健康と安全を守る」3つの理念と、それを支える6つの政策目標(12の中目標)が明示されたことでしょう。この政策目標の実現に向けて今後推進すべき重要な研究開発課題の議論も進められていますが、その際、「科学的インパクト、経済的インパクト、社会的インパクトを軸とした将来的な波及効果を客観的に評価」し、「我が国の国際的な科学技術の位置・水準を明確に認識(ベンチマーク)した上で投資の必要性を明確化」することなどが要請されています。このため、重点戦略分野の一つである「ナノテクノロジー・材料」を中心に科学的に高い知見を持つ応用物理学会は、政策推進サイドから協力を求められています。

そこで、第67回応用物理学学術講演会の開催を機に、第3期科学技術基本計画の概要を紹介頂くとともに、今後の科学技術展開に関して政策サイドと応用物理学会運営サイドが意見交換を行う、下記のシンポジウムを企画致しました。会員の皆様の奮ってのご参加を期待し、ご案内致します。

日時：2006年8月29日(火) 13:30～16:00
(第67回応用物理学学術講演会 初日午後)
場所：立命館大学 びわこ・くさつキャンパス
プリズムハウス1階 P104 (D会場)

プログラム

1. 特別講演 13:30～14:30
第3期科学技術基本計画と重点化政策の展開
－我が国の科学技術を定量的に俯瞰する－
文部科学省 科学技術政策研究所 総務研究官 桑原輝隆
司会
小館香椎子(応用物理学会副会長;日本女子大学理学部教授)
2. パネル討論 14:30～16:00
技術ロードマップと産学官連携
－応用物理学会の果たすべき役割とアクションプラン－

- パネリスト (50音順)
- 伊藤順司 (応用物理学会評議員;産業技術総合研究所 企画本部副本部長)
久間和生 (応用物理学会前理事;三菱電機 常務執行役)
桑原輝隆 (文部科学省科学技術政策研究所 総務研究官)
榊 裕之 (応用物理学会監事・前会長;
東京大学生産技術研究所 教授)
名西徳之 (応用物理学会理事;立命館大学理工学部
電子光情報工学科 教授)
藤田省三 (富士通研究所 ナノテクノロジー研究センター
主席研究員)
渡邊政嘉 (経済産業省産業技術環境局研究開発課
企画官)
- 司会
石原 宏 (応用物理学会副会長;東京工業大学
総合理工学研究科 教授)

■立命館大学びわこ・くさつキャンパスへのアクセス



- ◆ JR「京都駅」より
2番線 JR琵琶湖線(東海道本線)普通電車(草津・米原方面行)にて約20分、JR「南草津駅」下車。
*新快速電車は南草津駅に止まりません。石山駅で普通電車に乗り換えてください。
*大阪方面からの快速電車は、琵琶湖線内では普通電車になります。
- ◆ JR「南草津駅」より
東口バス停より、近江鉄道バスで「立命館大学行き」または、「立命館大学經由飛島グリーンヒル行き」にて約10分、「立命館大学」下車。(「立命館大学正門前」ではなく、キャンパス内のバス停、「立命館大学」で下車してください。運賃220円は降車時にお支払いください。)